

教科	教科の課題 生徒の実態	具体的な授業改善策 補充的、発展的な改善内容
国語	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の定着において二極化の傾向がある。 意欲的に授業に取り組む生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字テスト・テスト直しを継続して行う。 分からない漢字は国語辞書を使って調べるように指導する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の定着において二極化の傾向がある。 社会的な出来事への興味関心が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な学習の仕方を適宜紹介する。 ペアワーク等の協働的な学習を取り入れて、学び合う学習を展開する。 時事レポートを課し、時事問題への興味関心を高める。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 前向きに取り組もうとしている生徒が多い。 学習意欲や習熟度の差が大きい。 基本的な知識や技能の習得に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な知識や技能の向上のため、宿題や小テスト等により反復練習を行う。 ペアやグループで学び合うことで、知識や技能の定着を図るとともに、習熟度の差を縮める。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 圧力や濃度などの計算問題を苦手とする傾向がある。 積極的に発言する生徒が多く、前向きに取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算問題の課題に定期的に取り組ませ、反復練習を行う。 実験の考察を自分で文章化できるように、授業中に取り組む時間を設定する。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 課題に前向きに取り組む姿勢がある。 互いに声を掛け合い、補い合おうとする学年の雰囲気がある。 音楽経験・能力に個人差があり、個人で思考して表現する力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 吹奏楽や合唱において、グループで協力して学習活動に取り組む方法を定着させ、個人差を縮める。
美術	<ul style="list-style-type: none"> 授業に意欲的に取り組んでいる。 忘れ物が原因で、作業の進行に課題のある生徒がいる。 作業に時間がかかる傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 忘れ物がないよう前日に声かけをしたり、連絡帳に書かせたりする。 授業に集中して取り組む雰囲気づくりを行う。 状況に応じて、放課後の補習の充実を図る。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動に対して積極的な生徒が多く、活動に意欲的に取り組むことができる。 個々の体格や体力の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒に応じて段階的に課題を設定することで、全体的な体力の向上を図る。
技術	<ul style="list-style-type: none"> 授業や実習に意欲的に取り組んでいる。 知識の定着に課題がある生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> プリントの活用を充実させる。 プリントをきちんとまとめさせ、提出を徹底させる。 生徒の理解度に合わせて個別に説明を行う。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 授業中のワークや話合いに積極的に取り組んでいる。 自分の意見を言語化して表現することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> より多様な意見に触れられるように話合い活動を充実させる（ジグソー学習・模造紙の活用した発表等）。 授業の最後にはまとめワークを毎回行い、自分の考えを具体的に言語化させていく。
英語	<ul style="list-style-type: none"> 英語の文字や音声の理解が深まっている。 設問の意図が読み取れていないことも考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用教材を繰り返し使い、4技能それぞれに特化した活動で定期的に復習の機会を設ける。 英語を使用する様々な場面を想定した授業を行う。